



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789

発行日：平成26年10月1日 定価：150円 発行人：清澤正人 印刷：山陽印刷株式会社

平成26年度全旅連青年部臨時総会開催	1	省庁だより／追賜・死亡叙位・叙勲のお知らせ	5
県部長サミット「自社HP販売向上セミナー」	2	全旅連経営・金融委員会 旅館ホテル経営者リスク	
青年部臨時総会懇親会開催		マネジメントセミナーの概要	
観議連の衆参議員に「改正耐震改修法」と「観光立国推進」	3	第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介	6
で陳情		全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	7
全旅連シルバースター部会幹部会開催「人に優しい宿」	4	新役員の紹介	
ガイドブック発刊／全旅連委員会開催		全旅連協定商社会名簿	8

## 平成26年度全旅連青年部臨時総会開催

### 平成27・28年度の次期部長に桑田氏を選出 One for All, All for Oneの精神で組織運営を

「『維新伝心』青年部(われらの共創力(ちから)で未来を拓こう)」を標榜する平成25年・26年度全旅連青年部(山口敦史部長)は9月11日、平成26年度臨時総会を東京・千代田区の都道府県会館で開き、平成27年・28年度の新部長に桑田雅之氏(長野県上田市・菅平高原温泉ホテル)を選出したほか、県部長サミットと陳情活動を行った。

#### 平成26年度全旅連青年部臨時総会 「維新伝心～青年部の共創力」



山口部長と握手を交わす27・28年度次期部長の桑田氏(左)

冒頭、佐藤会長はあいさつの中で、耐震問題で「遅れている地方自治体の補助制度の整備と充実に対する要望」をしていく陳情活動について述べ、東日本大震災での全旅連の活動を記録した「命をつなぐ『おもてなし』」について説明。「これは旅館・ホテルが災害時発生において避難所としての機能を果たすなど旅館・ホテルの役割と挑戦を示したものであり、旅館・ホテルの社会的特異性や地域社会での重要性について十分に認識できるものとなっている。陳情にはこの本を持参し、陳情先の国会議員に、ぜひ手渡してほしい」と語った。

次期部長には桑田雅之・現青年部副部長が立候補し、所信表明では、同氏が若い頃からラグビー選手として活躍していたこともあって、ラグビーでよく使われる「One for All, All for One」の言葉を引用し「私はこの精神で青年部という組織を運営し、この業界を取り巻く問題に対し、全青年部員のスクラムを組んで立ち向かっていきたい。そういう想いで次期部長に立候補した」としたうえで、「全旅連青年部、県青年部、そして一般部員の距離をできるだけ近づけて、身近なものにしていきたい」と語りながら、政策的課題、流通課題、インバウンド、構造的な問題、青年部員の



陳情に当たって「命をつなぐ『おもてなし』」本について語る佐藤会長。来賓あいさつをする第18代永山部長。池見監事。



「県部長サミット」と多くの観議連の議員たちが出席した懇親会



議員会館での陳情活動と参議院議院運営委員の福島県議員に面会する

減少問題などへの取り組みについて説明し、これらを基本方針とした。同氏の次期部長の選任は全会一致で承認された。

報告事項では、全旅連青年部全国大会(10月8日、京都市勧業館「みやこめっせ」で開催)と第2回旅館甲子園(平成27年2月18日、東京・国際展示場で開催)そして、翌日の12日に行われる陳情活動についての報告と説明が行われた。全国大会については、池見監事が講評の中で「全国大会は全旅連青年部の活動の発表の場であり、それをみなさんに知ってもらう場である。そして、全国の仲間と知り合えて交流を深めることができる場でもある」と述べ、多くの部員参加を求めた。

県部長サミット(2頁に掲載)のあと、場所を都内のホテルに移して懇親会を開催。自民党観光産業振興議員連盟の衆議院議員38人、議員代理53人、参議院議員15人、議員代理9人が出席し、部員らと懇談した(2頁に関連写真)。

# 県部長サミット「自社HP販売向上セミナー」／青年部臨時総会懇親会開催

『WEBを使った儲けの方程式・鍵は分解にあり』  
OTAで宿を見た人が自社HPを見に来る確立は70%

全旅連青年部では総会終了後、県部長サミットにおいて流通対策委員会による「自社HPでの販売向上を目指せ」をテーマとしたセミナーを実施した。ネット直販の時代となった今、旅館・ホテルがこの環境を最大限活用していく上で重要となる自社のホームページの在り方、WEBマーケティングやユーザーのホテル予約までの経路における自社サイトの位置づけなどについて考えた。

旅館・ホテルの現場で最も力を入れているのは、オンラインマーケティングであるといっても過言ではない。自社ウェブサイトというより、楽天・じゃらん・一休等のオンライントラベルエージェント（以下OTA）の集客力はとても強いということ。消費者は宿を選ぶのに、取り扱いホテル数が豊富で、料金が安く、ポイントが付くなどの特典があり、口コミで施設やサービスの期待値が分かりやすいOTAを利用する。そのため旅館ホテルは、一生懸命に自分のホテルがそれぞれのサイトの中で消費者に選ばれるような、魅力的な「プラン」作りを行っている。また、各サイト内に広告を出したり、リスティング（自分の施設を上位に表示する）を行ったりしている。

セミナーでは「OTAで宿を見た人が自社HPを見に来る確立は70%もある。こうした人を逃すな。ここで、『自社が一番お得』であることをしっかりと伝えることが必要である」と述べ、そのためにも自社のHPの点検は大切なことだと強調、次のように説明している。

◇HPを一つ一つ分解してみると見えてくるものが沢山ある。欠点としては①予約導線が分からない②ムービーがFlashである③自社最安値保証（ベストレート）の記載がない④自社特典の記載がない⑤ポイント還元がない（工夫によって埋め合わせることが可能）⑥電話番号が一番下にある⑦スマートフォン用のHPがないなどが挙げられる。反面、ターゲティングが重要であり、客層などターゲットを絞って、その人たちのほしい情報をしっかりと伝えているHPは好感をもたれるものだ。

◇HPからの三大離脱要因は①操作が分からない



プロジェクター使用のセミナー

## 細田観議連会長ら大勢の議員が駆けつけた懇親会



あいさつする観議連の細田会長と高階事務局長



## 青年部の共創力で未来を拓こう

新伝心〜青年部の共創力で



上・桑田次期部長を囲んで握手する歴代部長ら。下・山口部長を囲む首都圏ブロックの皆さん



地元選出議員と懇談する上から秋田県長野の部員の皆さん



地元選出の議員と懇談する上から島根左2人、鳥取群馬の各県の皆さん

②先が見えない③クリック数が多いなどとなっているので気をつけたい。分かりやすさについて言えば「一筆書き」がHPのセオリー。階層を深くすると、「戻る」「閉じる」の作業が増える。これはNG。予約システムのトップページにも宿の「ウリ」を掲載したい。つまり、どこからでも宿の魅力を一発で確認できるようにするという。さらには、プランや客室毎に多数の画像や説明をつけること。客室についていえば、面積、ベッド幅、バスサイズ、眺望などだ。また、予約しやすくするために公式サイトトップページに検索パネル（出来ればファーストビューに）をつけるのもいい。この場合、予約事に「パスワードが必要」などとすると離脱の原因となる。なお、予約のページにオプション販売もきちんと提示すれば、付帯売上のUPにつながるのでぜひトライしよう。

◇「OTAは依存せずに活用していく」ということについて述べたが、OTA比率が平均して80%という現実、そして、何よりも利益率の向上を考えると、今こそ、自社サイトを最高の武器になるよう努力したいものである。

# 観議連の衆参議員に「改正耐震改修法」と「観光立国推進」で陳情

## 「補助制度の整備・充実」で国からの働きかけを補助率引き上げ措置の適用期限の延長も要望

全旅連青年部は臨時総会の翌日、自民党観光産業振興議員連盟の衆参の議員に対して行った陳情は「耐震改修促進法の改正」、「有給休暇取得円滑化および休暇改革」と「観光立国促進旅行券の発行」の2項目によるところの国内旅行活性化を求めた「観光立国推進」に関するものの2点。

耐震に関する要望では、国の補助制度において補助率引上げが措置されたにも関わらず、地方自治体の補助制度の整備・充実が遅れているため、十分に活用されていないとし、地方自治体における補助制度の整備・充実に向け、次の3項目を要望した。

「国から地方自治体に対して、引き続き補助制度の整備・充実を強く働きかけること。」「地方自治体の補助制度の整備・充実を促すため、地方自治体の耐震改修等に対する補助制度に係る特別交付税措置の充実を図ること。」また、国の補助制度における補助率引上げ措置について、平成25年度から3カ年の時限措置として導入されているが、「十分な準備期間を経た後に耐震改修工事を実施することができるようにするため、適用期限を延長し、現行の補助率を確保するなど国による支援措置のさらなる充実を進めること。」の3項目となっている。



陳情活動について詳細に説明する政策検討委員会の委員たち。右は諸川副委員長(上)と森常任相談役



資料の入った自分たちの袋を持って陳情におもむく各県の部員たち(全旅連会議室で)

## 福島県青年部は参議院議院運営委員長に陳情



議事堂内の参議院議院運営委員長室を訪れ陳情する福島県の皆さん



議員会館で陳情を続ける滋賀県(左)と、熊本県の皆さん

「国内のホテル・旅館は、ビジットジャパンを支える施設であり、日本のおもてなしの拠点施設として地域活性化に寄与するとともに、地域における雇用確保にも貢献している」「東日本大震災では、多くの避難者の受け入れにも実績があり、災害時の防災拠点としての機能も併せ持つ公共性の高い施設である」とし、そのためにも安定的な経営の継続のためには耐震改修工事の実施が必要となるが、それには多額の費用が必要となり、これをホテル・旅館の事業者のみで負担するのは困難であるとしている。

観光立国推進に関する旅館業界の要望は、いずれも国内旅行の活性化を図ってほしいと訴えるもので、「2007年に施行された観光立国推進法は多くの成果をあげてきたが、現在は、旅館ホテル業界は多様化する顧客のニーズや予約形態、社会の大きな変化により、今までにない対応が求められている」とし、旅館ホテル業界の要望を我が国の観光施策に盛り込んでほしいという要望。

日本の有給休暇取得率が依然先進国最低の水準であることを指摘し、休暇制度の改善・整備を要望していく。また、「観光立国推進旅行券の発行」では、人口減少の中、消費喚起を図るには交流人口の拡大、すなわち観光交流人口の増加に活路が見いだされるものであるとし、景気回復の起爆剤として観光立国推進旅行券の発行を要望している。

# 全旅連シルバースター部会幹部会開催 「人に優しい宿」ガイドブック発刊

全旅連シルバースター部会（多田計介部会長）は、9月11日幹部会を開催し、10月発刊のシルバースターガイドブックの詳細について詰めの協議を行った。全国を8ブロックに分け、シルバースター部会地区委員や47都道府県組合から集めた観光情報も掲載し、読者の旅行意欲を高める工夫がされている。30,000部を作成し、18,000部は54,000人の定期購読者を擁する50代からの旅と暮らしの情報誌「ノジュール（10月号）」（JTBパブリッシング発行）に同梱発送し、残りの12,000部については、全登録施設等に配布する。

**【会議参加者】** 佐藤会長、大木会長代行、多田部会長、中村副部長、竹内氏（エム・アンド・シー・アソシエイツ）、江口氏（観光経済新聞社）、塩津氏（株元裕社）



挨拶する佐藤会長



安心して快適に寛げる  
**人に優しい宿** 全国850軒  
シルバースター登録施設

**2014年おすすめ厳選宿！**  
お泊まり恒例行事に最適  
見て楽しむ・行って満足！無料トラベルガイドブック  
見やすい！日本全国8エリア別徹底ガイド  
二世帯、三世帯でも気軽に行ける！

Senior Travel

高齢者に優しく全ての人が利用しやすい宿  
設備・サービス・料理が充実の宿に泊まろう！



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

平成26年10月15日発刊。フリーペーパー形式でA4判・64ページ・フルカラー。巻末には全登録施設の情報が掲載される。

## 第3回全旅連財務委員会開催

全旅連財務委員会（宮村耕資委員長）は、9月2日、26年度3回目となる委員会を開催した。まず、全旅連協定商社入会審査会では株式会社JTBビジネスイノベーターズ（JBI）の面談を行った。JBIではクラウド型の旅館ホテル向け基幹業務支援システム「INCHARGE7」の他、インバウンド対応に沿ったサービスとして外貨取扱支援、自社HP予約決済支援「Book&Pay」を取り扱う。その後の入会審査では、今後のインバウンドへの対応に適したサービスであると評価し、次回の正副会長会議にて入会を諮ることとした。（9月24日開催の正副会長会議にて入会承認。10月1日より加入）。

続いて財務委員会を開催し、協定商社の株式会社フジ医療器より組合員を対象とした優遇価格でのマッサージチェアの販売について提案を受け今後の方向性について協議を行った。



委員会の様子

## 全旅連経営・金融委員会開催

全旅連経営・金融委員会（岡本厚委員長）は、9月2日、本年度第1回目の委員会を開催した。

昨年度は、東京・大阪と2回のセミナーを開催し出席者もさることながら、個別相談件数10件と組合員の悩みが深いことから、今年度もセミナー開催を決定し、10月から2月までに全国の主要会場で「旅館ホテル経営者リスクマネジメントセミナー」を開催する運びとなった。

### 全旅連経営・金融委員会による 旅館ホテル経営者リスクマネジメントセミナー開催！！

セミナーの内容は、昨年度よりテーマ範囲を拡大して経営改善・金融対策、BCP（Business Continuity Plan 事業継続計画）、リスクマネジメント、耐震問題等金融に関わる全般を取り上げる。

同日には、委員会アドバイザーの渡邊清一朗氏による個別相談を開催。経営者の様々な経営上の悩みに対応する。個人的な悩みや事業上の悩みなども得てして綿密に絡み合っている場合が多いため、些細な悩みの場合でもこの機会に相談されることをお勧めする。

日程は5頁（右記）の通り。セミナー、個別相談の申込・問合せは全旅連（03-3263-4428）まで。

## 省庁だより 平成26年度衛生水準の確保・向上事業

一般社団法人全国生活衛生同業組合中央会では、本年より11月を「生活衛生同業組合活動推進月間」と定め、関係機関や関係団体の連携のもとに、生衛組合の周知広報や組合活動の活性化のための取り組みを重点的に展開していくこととしており、これらの活動と連携することにより、生衛業の衛生水準の確保・向上を図ることを目的とする。

中央では、10月28日開催の生活衛生功労者表彰式典において、月間の活動スローガンの宣言を行う。また、生衛法や生衛組合の活動に関する組合員の意識や理解を深めるため、生衛法、融資、税制、衛生管理等の生衛業者に共通して必要な情報をコンパクトにまとめたハンドブック「生活衛生ポケットブック(仮称)」を作成し、生衛組合員に配布するとしている。

### 平成26年秋季全国火災予防運動

#### 1. 目的

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を予防し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐ事を目的とする。

#### 2. 実施期間

11月9日(日)から11月15日(土)までの7日間

#### 3. 防火標語(平成26年度全国統一防火標語)

『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』

### 追賜・死亡叙位・叙勲のお知らせ

#### 従六位旭日双光章受章

故 渡邊剛男氏(愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合理事長/平成26年7月24日ご逝去)に対し、長年にわたり業界活動に貢献した功績により、従六位旭日双光章が贈られました。叙位並びに叙勲伝達式は9月10日、厚生労働省に於いて執り行われ、代理人であるご子息に手渡されました。



故 渡邊剛男氏

### お知らせ

## 旅館ホテル経営者リスクマネジメントセミナーの概要 全旅連経営・金融委員会

#### セミナー内容

- 基調講演 講師：全旅連経営・金融委員会アドバイザー 渡邊 清一郎氏
- パネルディスカッション パネリスト：全旅連経営・金融委員会委員
- 個別経営相談 全旅連経営・金融委員会アドバイザー 渡邊 清一郎氏

#### テ マ

経営改善・金融対策、BCP(Business Continuity Plan 事業継続計画)、リスクマネジメント、耐震問題等、金融に関わる全般

#### 開催日程

ブロック	日程	会場
北海道(札幌)	10/30	北海道札幌市北区北七条西5-5-3 札幌千代田ビル11F
東北(仙台)	11/20	宮城県仙台市青葉区花京院1-1-10 3F
関東(群馬)	12/9	群馬県高崎市小八木町895 5F
東海(名古屋)	1/13	愛知県名古屋市西区名駅2-22-9 14F
中国(広島)	2/9	広島県広島市中区国泰寺町1-8-13 5F
九州・沖縄(福岡)	2/10	福岡県福岡市博多区住吉2-9-2 6F

# 第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介

## リクルートライフスタイル「じゃらん」賞

香川県ホテル旅館生活衛生同業組合

「瀬戸内国際芸術祭 2013『楽々チェックイン・バゲージ・デリバリーサービス』」

「瀬戸内国際芸術祭」は美しい瀬戸内海の島々を舞台に3年に一度開催される現代アートの祭典。第1回は2010年に開催され、第2回(2013年)の開催に当たって、香川県ホテル旅館生活衛生同業組合は「楽々チェックイン・バゲージ・デリバリーサービス」を企画・実施した。第1回の主な会期は夏ということもあって、来場者が炎天下に汗を拭いながら大きな荷物をフェリーに持ち込み移動していた姿を見て反省。このサービスは、観光客から手荷物を預かり、当日の夜までに宿泊先に届けるというもので、来場者に身軽に島々を巡って欲しいという「おもてなし」の心が出発点だ。

芸術祭の会期中(108日)、高松港の総合案内所にて、香川県内の宿泊施設に宿泊する観光客で芸術祭の作品鑑賞パスポート持参者を対象に実施。午前7時半～正午に手荷物を預かって梱包。宿泊先に電話して予約を確認し、荷物を受け取りに来よう伝える。各施設での対応が難しい場合は、地域の代表者がまとめて運び(小豆島や島嶼部は業者に委託)、遅くとも夜8時までに届ける。

費用は整理料として1個100円、島嶼部は500円、非組合員の場合は600円とした。利用者からは「助かります」「楽に観賞できます」「前はなかったサービスね」「本当に100円なの!」などの反響があった。また、非組合員施設にもサービスを実施し、行政や実行委員会からも感謝されたという。当初危惧していた荷物等の遅配、行方不明、破損等は1件もなかった。第3回も実行委員会から「ぜひ継続してください」との声がある。



総合案内所の様子  
(右は香川県組合 和田事務長)



毎回多くの人で混雑する高松港

## 全旅連シルバースター部会長賞

鈴の宿 登府屋旅館

「車いすでも家族旅行を気軽に安心して楽しめる仕組みづくり」

鈴の宿 登府屋旅館(山形県小野川温泉)は20年前から高齢者に向けた施設のバリアフリー化に取り組んでいるが、「車いすでも旅行に出かけたくなるくらい事前情報を伝えて、不安をなくす」「お客様は、旅館ではなく旅行に行きたい」という2つの理念のもと、ハードとソフトの両面で車いすの旅行が楽しめる仕組みづくりを昨年から進めている。

それは、「バリアフリー特別室」への改修、小回りの利く屋内用の車いす、浴室用の車いす、畳でも安心の車いす車輪カバーの導入などに加え、車いす関連グッズの案内や整備にまで及んだ。また、小冊子「車いすでも米沢を旅する本」や車いす専用のパンフレットと動画を制作し、旅館だけでなく車いす対応タクシーや多目的トイレのある観光施設の情報など旅の全体像を伝えることにも努めた。さらには、フェイスブックページの「車いすでも米沢を旅する」では、随時車いす対応情報を更新し、紙媒体とは違った伝え方を心がけた。

また、同旅館では超高齢化社会に向けたバリアフリーセミナーを開催し、ふくしまバリアフリーツアーセンターの佐藤由香利センター長が「リピーターを生み出すちょとした気遣い」と題して講話。市内の経営者ら11人が、利用者目線を通したサービスとは何かを学んだ。

同旅館では「車いすのお客様の受け入れは、宿だけでは不十分で、周辺施設の協力も不可欠です。『車いすでも旅する本』をきっかけに、地域で受け入れる体制を整えていきたい」と意気込みを語っている。

車いすのお客様やそのご家族を対象に宿の下見も受付けている。

サービス名	電話番号	営業時間	備考
タクシー	0238-22-201	24時間	乗車料1,000円
市民タクシー	0238-22-0360	24時間	乗車料1,000円
タクシー	0238-22-1317	24時間	乗車料1,000円
タクシー	0238-22-0000	18時	乗車料1,000円
タクシー	0238-22-7000	18時	乗車料2,000円
タクシー	0238-27-0811	4時	乗車料2,000円
タクシー	0238-24-0000	24時間	乗車料1,000円

小冊子では「市内の交通手段」や「観光ルート」等を紹介し、事前の不安を取り除くよう工夫している。

# 全旅連会議開催

【9月】

- 2日(火)
  - 食物アレルギー対応マニュアル作成委員会
  - 全旅連財務委員会
  - 全旅連協定商社会入会審査会
  - 全旅連経営・金融委員会
- 8日(月)
  - 全旅連税制委員会小委員会
- 10日(水)
  - 全旅連青年部常任理事会 他
- 11日(木)
  - 全旅連シルバースター部会幹部会
  - 全旅連青年部臨時総会  
於：都道府県会館(東京都千代田区)
- 12日(金)
  - 全旅連総務会
  - 全旅連青年部陳情活動
- 16日(火)
  - 全旅連女性経営者の会(JKK)定例会/勉強会～17日  
於：湯守 田中屋(栃木県塩原温泉)
- 22日(月)
  - 第1回全旅連会長選挙管理委員会
- 24日(水)
  - 第3回全旅連正副会長会議

## 【新役員の紹介】

6月3日の総会以降、次の3氏が新たに当連合会役員に就任されました。

- 常務理事** 渡邊幸一氏(愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合新理事長/故渡邊剛男理事長の後任)
- 理事** 森永鈴江氏(東京都ホテル旅館生活衛生同業組合副理事長/東京都組合空席補充)
- 監事** 前川為夫氏(滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合副理事長/針谷了監事の後任)

## 経営ワンポイントアドバイス

### 「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

#### 「通信固定費の削減」

必要情報を準備、あとは専門コンサルティング会社にシュミレーションを依頼する。コンサルティング会社はその資料に基づき削減メニューを作成し、依頼主との合意の上で削減作業に取り掛かる。通信固定費なので一月当たりの削減額は明確に表れる。着手から4カ月が過ぎたところで削減額を確認し、成功報酬として3カ月分をコンサルティング会社に支払うだけ。そののちの削減額はすべて依頼主の利益となり続けるというもの。友人のホテルでは年間200万円程度の削減となる予定で、順調に推移している

日本国内では通信費に含まれる基本料金を払うのは当たり前なことだと思われており、そこを削減できることは知られていない。基本料金には電話会社・電話設備保守会社・電話会社と保守会社及び工事会社を取り次ぐ受託店・工事会社の4つの関係者の料金が含まれている。このコンサルティング会社は受託店の資格を持っており、自社の手数料を削ることにより依頼者にとってのメリットを発生させることが可能となる。

過去5年間に250社程度の削減に成功しており、中でも旅館ホテル業は効果が出やすい業種らしい。料金シュミレーションに必要な情報は①電話料金請求明細のコピー②プロバイダー料金請求明細のコピー③電話設備の詳細など。10日程度で実際に削減できる金額を10円単位で算出できるという。試してみる価値あり。

質問・相談は  
watanabe@yadonet.ne.jp 携帯(090-3322-7208)  
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

## 株式会社ワコム

取扱商品  
ペーパーレス宿帳入力機器



株式会社ワコム  
〒160-6131  
東京都新宿区西新宿8-17-1  
住友不動産新宿グランドタワー31F  
TEL: 03-5337-6706

宿泊施設の、宿泊施設による、宿泊施設のための

予約・販売管理システム

# TL-Link

TL-リンク

旅行会社とネット販売を一元管理!

旅行会社とネット販売の  
予約・販売・残室管理を1つに集約

ASP化により  
複数の担当者の同時利用が可能

PMSへの入力・修正の負荷を、  
カスタマイズ機能により大幅に削減

統計実績データをボタン1つで  
集計・分析、営業力が強化

☞ ユーザー支援強化中!!

- ユーザー様のお声をもとに、毎月機能増強を行っています!
- 導入後の操作フォロー・勉強会等、直接訪問致します!

お申込み・  
お問合せは

〒105-0021 東京都港区東新橋 2-3-3  
電話: 03-5404-6701(代) FAX: 03-5404-6706

http://www.seanuts.co.jp/ シーナッツで検索

# 全旅連協定商社会名簿

システム・シャイン・サービス(株)	ジュータンのメンテナンス(シミ・汚れにSUPER 3S)	〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-8-10 加藤 卓	TEL 03-5996-5407 FAX 03-5996-5435
(株)トランスネット	ホテル旅館向け各種インターネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F ホテル旅館事業部 マネージャー 土方 昇	TEL 03-6681-3140 FAX 03-6686-1039
ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒107-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社 部長 中野 秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 営業企画部 市場開発室 担当課長 古川 強志	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449
丸八真綿グループ(株)マルハチプロ	丸八真綿寝具販売他	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-8-12 8階 営業部 辻 雄太	TEL 045-471-0818 FAX 045-475-0822
サントリーフーズ(株) 【サントリーコーポレートビジネス(株)】	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の設置	(東日本担当)〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附MTビル 東部広域自販機開発部 部長代理 大沼 潔 (西日本担当)〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18階 西部支社 法人営業部 部長代理 桑田 美仁	TEL 03-3479-1528 FAX 03-3479-2104 TEL 06-6346-1164 FAX 06-6345-5768
(株)リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、じゃらんnet等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 旅行営業統括部 事業推進部 営業推進グループ 山内 未来	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784
(株)セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂 博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル 販売企画部 全旅連担当課長 田崎 裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-5381-7832
(株)第一興商	カラオケ機器(DAM)音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 エルダー事業開発部 営業課 牧野 茂	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0962
大阪ガス(株)	ガスの製造、供給及び販売、ガス機器の販売	〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町3-5-11 エネルギー開発部営業開発チーム 課長 和田 荘	TEL 06-6205-4674 FAX 06-6202-2190
(株)コジマ	家電製品全般	〒171-0033 東京都豊島区高田3-23-23 高田本部ビル8F 営業本部 法人営業部 主任 古内 隆宏	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
(株)エクシング	カラオケ機器(JOYSOUND、UGA)音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 直販営業部法人開発G 担当部長 田中 茂孝	TEL 0120-992-173 FAX 03-6848-8186
(株)まごのてらライフサービス	空調機の高圧洗浄及びクリーニング	〒184-0013 東京都小金井市前原町5-1-14 北多摩建設会館1F 専務取締役 粟野 和司	TEL 042-388-5123 FAX 042-316-1427
東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 旅行業営業部 営業第一課 主任 渡邊 典昭	TEL 03-5537-3491 FAX 03-5537-3471
AIU損害保険(株)	組合員向各種損害保険	〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-1-1 センチュリープレイス山形 山形支店 支店長 菅原 勲	TEL 023-633-8282 FAX 023-633-8353
キャンシステム(株)	音楽・映像放送事業、防犯カメラ事業等	〒151-0071 東京都渋谷区本町6-34-6 キャンシステム幡ヶ谷ビル2F 営業開発本部 関東地区直轄営業部 課長 照井 雄三	TEL 03-5358-8650 FAX 03-3377-2168
楽天(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-9 楽天タワー2号館 トラベル事業 国内営業部 吉崎 弘記	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253
(株)宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園 勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
(株)ユーコム	ホテル・旅館専用宿泊管理業務支援システム	〒700-0901 岡山県岡山市北区本町10-17 本町第一ビル 坪田 達摩	TEL 086-234-7343 FAX 086-234-7333
(株)シーナッツ	予約・販売管理システムT L-リンカーン	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-3 ルオーゴ汐留8F システムソリューション本部 営業グループ 田代 一義	TEL 03-5404-6702 FAX 03-5404-6706
(株)ワコム	ペンタブレット端末を活用した宿帳の電子化	〒160-6131 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー31F タブレット営業本部 マーケティング部VMGr.マネージャー 中達 隆司	TEL 03-5337-6706 FAX 03-5337-6514
(株)アルバン	自動麻雀卓・イス・サイドテーブル等	〒164-0003 東京都中野区東中野2-1-2 営業部 須浦 正裕	TEL 03-3227-1190 FAX 03-3227-1150
(株)i.JTB	宿泊予約サイトるるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル17階 るるぶトラベル販売部 営業推進担当部長 清水 隆	TEL 03-5796-5675 FAX 03-5796-5863
ヤフー(株)	Yahoo!トラベル 国内宿泊予約	〒107-6211 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー ショッピングカンパニー 事業推進本部 ビジネス開発部 リーダー 大辻 琢磨	TEL 03-6440-6732
近畿日本ツーリスト個人旅行(株)	宿泊予約サービスe宿(いーやど)	〒163-0235 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル 35F e宿泊事業部 営業推進グループ 鶴岡 潤一	TEL 03-6733-5110 FAX 03-6733-5353
三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 東京支社 業務統括部 参事 倉場 和紀	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
(株)フジ医療器	マッサージチェア	〒108-0023 東京都港区芝浦3-2-16 田町イーストビル1F 商経営業部 企業担当ユニット 鈴木 哲治	TEL 03-3769-6600 FAX 03-3769-6601

協賛

推奨

(平成26年9月1日現在)



眠りはさらに  
「おもてなし」の中心へ

丸八真綿グループ  
M PRO 株式会社 マルハチプロ

本社 〒432-8508 静岡県浜松市南区小沢渡町1533  
☎ 0120-4649-08【丸八グループお客様相談室】

新しいご提案をさせていただきます。



株式会社エクシング

〒105-0011  
東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F  
TEL : 0120-992-173 FAX : 03-6848-8186  
担当 : 田中・佐野・安西

JOYSOUND